

原水爆禁止2014世界大会に寄せて

原水爆禁止2014世界大会実行委員会の皆様による、核兵器の完全廃絶のための並々ならぬ御努力と御活動に、心から敬意を表します。

さて、東日本大震災から3年余りが経とうとする今もなお、被災地では多くの人々の手によって復興のための取組が進められています。私たちは、震災の記憶と被災地からの教訓から、これまでの暮らし方や価値観などをもう一度見直し、真に持続可能な地域社会をつくっていかねばなりません。

日本国民のみならず、世界中の人々が一日も早い復興を願い、また放射能への関心が高まる中で、核兵器のない誰もが安心して平和で暮らせる「世界恒久平和」の実現は、全世界の共通の願いでございます。

小田原市におきましても、平成5年10月1日に「小田原市平和都市宣言」を制定してから、昨年で20年目の節目を迎え、改めて平和を守り次世代へ引き継ぐという宣言の趣旨を見つめ直したところでございます。

最後になりますが、原水爆禁止2014世界大会の御成功と、御参加の皆様方の御健勝を祈念いたしまして、メッセージとさせていただきます。

平成26年7月10日

小田原市長 加藤 憲 一